

おざき孝好通信

(後援会ニュース第5号)

発行：おざき孝好後援会 354-0022 富士見市山室2-1-7

第5回定例会開催



平成21年第5回(9月)富士見市定例会が、9月1日から24日までの24日間にわたって開かれました。

今回は、補正予算や条例改正、平成20年度一般会計歳入歳出決算や特別会計歳入歳出決算など議案17件と2件の報告が提出され、全て原案のとおり可決・承認されました。

富士見市議会においては決算議案については決算特別委員会を設置して審査することとなっております。

私も委員の一人として選任をいただき、8日(火)から10日(木)までの3日間、一般会計歳入歳出決算と特別会計歳入歳出決算について審査を行いました。

一般会計及び特別会計の歳入決算合計額は、431億3,288万9,571円、歳出決算合計額は412億4,12万6,006円であり、歳入歳出差引額の合計は18億9,176万3,565円となっております。

なお、一般会計の歳入総額は271億9,679万6,240円、歳出総額は260億4,343万4,881円であり、歳入歳出差引額は11億5,336万1,359円となっており、歳入歳出差引額から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた実質収支額は、9億7,724万578円となっております。

単年度の収支だけを見ればバランスは取れておりますが、歳入の中に市債(借り入れ)が含まれている点や一般会計の市債残高が約244億円、経常収支比率も91%を超えて硬直化が進んでいることなどを考えると厳しい財政状況であります。今後も引き続き、計画的・効率的な行政経営を行っていくことが求められております。

財政分析(決算資料より抜粋)

区分	財政力指数	経常収支比率	公債費比率	公債費負担比率
20年度	0.791	91.2%	14.4%	16.7%
19年度	0.770	91.5%	13.5%	15.5%
差し引き	0.021	△0.3	0.9	1.2

〈解説〉

財政力指数とは：地方公共団体の財政上の能力を示す数値で、1に近いほど財政力が強いとみることができる。

経常収支比率とは：この比率が高いほど財政の硬直化が進んでいるといわれ、一般的には70%～80%が妥当であるとされている。

公債比率とは：この比率が高いほど財政硬直化の一因となるものとされており、15%を超えないことが望ましいものとされている。

公債費負担率とは：この比率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示すものである。

《可決された主な議案等》

議案等	結果
富士見市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決
富士見市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
平成21年度富士見市一般会計補正予算(第5号)	可決
平成21年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算	可決
平成20年度富士見市一般会計歳入歳出決算と6つの特別会計・水道、下水道の企業会計等の決算認定について	可決
専決処分の承認を求めることについて(平成21年度富士見市一般会計補正予算関係)	可決

※「鶴馬字内谷地区墓地建設計画に反対することを求める陳情」については採択され、その他の陳情については不採択とされました。

《9月議会市政一般質問》

今回、大きく3つの点について質問いたしました。質問と答弁の概略は下記のとおりです。

2回目の一般質問ということで前回よりは落ち着いて行うことが出来ましたが、つつい欲張ってしまい項目を多く出してしまったことは反省すべき点でありました。限られた時間ですので、次回はもう少し絞って質問したいと思っています。



1. 今後の行政経営について

質 問

(1)「行政経営改革の推進について」ということで、これまでの取り組みの中から現状の課題、方向性については見出されてきていると思われるので、今後いかに実践していくかが重要である。

そこで、「組織体制、組織力強化」や「PDCAサイクルの確立に向けた取り組み」と「スクラップアンドビルド、サンセット方式の徹底」という点について質問いたしました。

(2)「職員の人材育成について」ということで、今後職員定員適正化計画により職員数が減少していく中で、これまで以上に職員の能力を最大限に引き出し、モチベーションを更に高めていく方策が求められます。

そこで、「職場研修の実績と今後の方策」や「職場環境づくりについて、工夫をされている点」と「人事評価制度」、「職員意識調査」という点について質問いたしました。

答 弁

(1) 行政課題の解決や市民ニーズへの的確かつ迅速な対応を図るためにも、政策を効果的に推進するための組織体制について検討をしていく。また、市民満足度を向上していくためにも戦略的な行政経営に向けて、成果指標の設定、達成状況の把握、施策・事業の点検や見直しを行い、PDCAサイクル確立に向けて取り組んでいく。

そしてスクラップアンドビルド、サンセット方式については、各部局の予算要求の際に検討されているが、今後も引き続き最善の方法で事業展開を進めるよう努めていく。

(2) 職場研修については、原則各所属の日常業務を通じて実施されており、更なる充実を図っていく。

また、職場環境については、チームワークの向上、業務目標の共有や個人の目標管理、職員の業務の熟達が必要と考えている。職員のメンタルヘルス対策として精神保健福祉士との面談等も実施している。

人事評価制度については今後も検討を重ね、職員意識調査については実施に向けて検討していく。

2. 地域の防災力向上について

質 問

(1) 「災害に備えた対策について」ということで、避難路の安全確保など「実際の災害に見舞われたときの対応を想定した訓練やマニュアルづくり」や「防災対策を司る組織としての体制づくり」等の点から質問いたしました。

(2) 「地域の防災リーダー養成」ということで、「自主防災組織の拡充と合わせて地域のリーダー養成も必要ではないか」、「リーダー養成にあたって、消防団との連携、OB団員、元消防署職員などのへの協力依頼は」との点から質問いたしました。

答 弁

(1) 避難路の安全確保については、実際の状況を想定しながら地域の点検をし、改善に取り組んでいる。

また、災害時の要援護者等の把握と対応については、庁内調整を図りながら市としてのマニュアルである「避難支援プラン全体計画の策定」、地域の取り組みの主体となる「地域助け合いネットワーク」づくりに努めていきたい。

(2) 新年度に向けて、安心安全な地域のリーダー養成に取り組む市の仕組みをつくっていく。その際には富士見市消防団活性化計画を踏まえ、連携を図りながらOBを含めた消防団員、元消防職員の協力も得られるようにしていきたい。



3. 教育行政について

質 問

(1) 「開かれた学校づくり」ということで、「学校評価を受けての教育委員会としての対応等について」、「学校運営協議会制度への取り組みについて」、「学校応援団について」という点から質問いたしました。

(2) 「ICT教育環境向上について」ということで、補正予算でパソコンの配備等が盛り込まれていたが、今後の活用等について質問いたしました。

(3) 「教育相談体制について」ということで、「定期巡回の成果」、「不登校の実情」、「親子意識調査」の点から質問いたしました。

答 弁

- (1)各学校から報告を受けた学校評価や学校訪問等を踏まえ、課題や取り組み状況に応じて支援をしている。「学校運営協議会制度」については、先進的な取り組みをしている学校の視察など研究を進めている。また、そして、「学校応援団」については、全小学校で立ち上げられたが、地域子ども教室の連携も踏まえて研究を進めると共に組織・活動が継続して行われるよう各学校応援団を支援していく。
- (2)校長、教員の代表で構成される「学校ICT教育整備委員会」を立ち上げ、コンピューター導入にあたっての校内使用規定や授業での活用等について検討している。コンピューターを活用した効果的な学習や校務の効率化につなげていきたい。
- (3)定期巡回をきっかけに専門的な相談につなげることができ、問題解決の適切な支援となっている。不登校の児童生徒の発生率については、県の数値と比べて小学校は上回っている状況であるが、今後も「ふれあい相談員、スクールカウンセラー」の配置等も含めて取り組んでいく。また、親子意識調査については、平成22年度の実施に向けて準備を進めている。

《定例会を終えて》

本議会においては、決算特別委員会の一員として平成20年度決算の審査にも携わることができました。事前に会派の先輩からアドバイスを受け、自分の考えも加えて委員会の中では質問もいたしましたが、市政の財政全般を把握する上でとてもいい勉強になりました。

私も今回の経験を踏まえ、健全な財政に向けた取り組みを推し進めていきたいと思えます。

また、最終日には、会派を代表して鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計の決算認定について、賛成討論をさせていただきました。会派の皆さんのご配慮により、こうした機会をいただき大変ありがたく思っております。

これからも、いろいろな方のご指導もいただきながら市民の皆さんの声をしっかりと受け止め、活力あふれる富士見市づくりに全力で取り組んでまいります。

12月定例会は、12月1日(火)から開会される予定です。

プロフィール 昭和39年4月21日生

学歴 富士見市立諏訪小学校・東中学校卒 埼玉県立坂戸高等学校卒 専修大学法学部法律学科卒

経歴 志木市役所職員 富士見市立諏訪小学校PTA会長 富士見市行財政改革市民会議委員

富士見市青少年育成推進員 (社)東入間青年会議所理事長

現在 (議会関係) 総務常任委員会委員 入間東部地区衛生組合議会議員

(地域等) 富士見市消防団副団長 富士見市商工会総代 きたはら幼稚園評議員

保護司 専修大学校友会幹事

ご意見、ご要望等ございましたらお気軽にお寄せください。

連絡先: 電話 251-4520 FAX 255-2422

E-mail takayoshi@home.nifty.jp



〈参考〉

※PDCA サイクルとは:総合計画、予算、行財政改革、組織そして行政評価を有機的に結びつける、マネジメントサイクル)

※スクラップアンドビルドとは:事業を新設する(ビルド)場合には、その費用に相当する既存の事業を改廃し(スクラップ)、全体として行政の肥大化を防ぐというもの。

※サンセット方式とは:広義には、事業すべてに対して推進期間を設定し、終期が来れば原則的に打ち切るという手法。その際、必要と認められたものだけ再び終期を定めて期間を延長する。